

夏の涼を求めて

下田温泉夏まつり 夜市



▲射的を楽しむ親子

8月20日、「下田温泉夏まつり・夜市」が天草町下田の温泉広場で開かれました。同まつり実行委員会が帰省者や観光客に夜の下津深江川の涼を楽しんでもらおうと毎年開催しているもの。ラムネやビールの早飲み大会のほか、豪華な賞品が当たる抽選会を実施。また、盆踊りや射的などの催しも行われ、多くの来場者でにぎわっていました。

特殊詐欺にご注意を

「声かけ訪問指導員」による特殊詐欺講演会



▲講演を行う県警OBの淵上さん(右)

8月29日、牛深町の鬼塚公民館と久玉町の特別養護老人ホーム明照園で熊本県警OBの「声かけ訪問指導員」による特殊詐欺講演会が行われました。講演会には約40人が参加。指導員の淵上義信さんは、「高齢者を狙ったオレオレ詐欺や架空請求などの特殊詐欺の予防は、まず要件を聞く、名前を確認する、身内で合言葉を決めておくことが有効」と話され、参加者は熱心に聞いていました。

地引網漁で魚がいっぱい!!

御所浦北地区子ども会が地引網漁を体験



▲サメを捕まえて笑顔の参加者

御所浦北地区子ども会が8月21日、同地区の海岸で地引網漁を体験しました。子どもたちに海に仕掛けた網を引き上げて魚をとる伝統漁法の「地引網漁」や地元でとれる魚を知ってもらおうとはじめて実施した。保育園児から中学生までの子どもや保護者など70人が参加し、掛け声をかけながら網を手繰り寄せて、網の中のサメやタイ、タコなどを楽しそうに捕まえていました。

地域の活気を取り戻そう!

旧城河原小学校でアカペラ合宿



▲合宿の成果を披露する大学生

8月26日から28日の3日間、五和町の旧城河原小学校で九州や東京などの大学生17人が参加し、アカペラ合宿が行われました。地域の活気を取り戻そうと城河原地域づくり振興会が受け入れているもので今回が3回目。合宿には男性6人組アカペラグループ“むらさきのうえ”を講師に、学生たちは昼夜をとおして歌のレッスンに励みました。最終日にはライブが行われ、観客は歌声だけで奏でられるハーモニーに聞き入っていました。

高校生がビジネスプランを考えた

平成28年度天草宝島起業塾高校生コース



▲発表する高校生

7月から8月の6日間で、天草宝島起業塾高校生コースが行われました。市と京都大学経営管理大学院が、若者がふるさとを愛し、雇用を生み出す「起業教育」を推進するために実施しているもので、今回で4回目。天草高校、天草拓心高校、牛深高校、河浦高校の生徒31人が6グループに分かれて、新たなビジネスプランを考えました。8月28日には、「期間限定天草オーリーブツアー」や“牛深んドッグを売ろう!”など、グループごとに発表を行いました。

大物・大漁を目ざして

倉岳大えびす鯛釣り選手権大会



▲釣り上げたタイを手に記念撮影

8月20日から9月28日にかけて、「倉岳大えびす鯛釣り選手権大会」が開催されました。(一社)天草宝島観光協会倉岳支部が毎年実施しているもので、九州各地から約250人の釣り愛好家が参加。倉岳町の宮田漁港と棚底港を出港して、マダイ、ココダイ、インダイを対象に、魚の全長やチームで釣り上げた総重量などを競いました。9月7日には、50cm超えのココダイなど総重量15kgが釣り上げられ、参加者はたいへん喜んでいました。

友好のきずなを深める

河浦小中学生が浦河町を訪問



▲馬とふれあう子どもたち

8月22日から25日の4日間、河浦小中学校の8人の児童・生徒が市と友好交流都市提携を結んでいる北海道の浦河町を訪問しました。明治時代に天草から開拓団として入植した杵臼地区の神社で歴史を学び、同町の小中学生といっしょに授業を受けるなど交流を深めました。また、乗馬や馬とのふれあい体験も実施。参加者は、「初めて馬に乗って楽しかった」と話していました。

福島・熊本の被災地の小学生が民泊体験

0円キャンプスクール



▲玉入れでの交流にくまモン登場!

福島と熊本の小学生27人が、7月31日から8月2日の2泊3日で、新和町の家庭で民泊を体験しました。東日本大震災で被災した福島の子どもたちを熊本に呼ぼうと有志の団体“0円キャンプスクール”が毎年実施しているもの。今回は熊本地震で被災した小学生を含めて、初めて天草で受け入れを行いました。新和小児童との交流で玉入れを楽しんだほか、海水浴、イルカウォッチングなども体験。参加者は夏の天草を満喫していました。